

令和6年度 第1回 都田中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年5月17日（金） 15時00分から16時20分まで
- 2 開催場所 都田中学校 被服室
- 3 出席委員 小林 宗吉、佐藤 元久、下原 直美、下村 優子、神間 郁子、吉田 恵子、高須 里美、小出 慎一郎
- 4 欠席委員 長谷川 卓人
- 5 オブザーバー 谷野 弘勝（都田協働センター所長）、伊藤 賢典（都田協働センターCS担当）
- 6 学 校 生熊 和広（校長）、神村 由貴子（教頭）、鈴木 貞良（教務）、尾田 由利恵（教諭）、渡邊 宏枝（教諭）、丹所 宏貴（教諭）、内山 朋行（教諭）、倉田 洸輔（教諭）、佐藤 奈帆（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 佐藤 奈帆
- 9 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について意見を求めたところ、小林委員から佐藤委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された佐藤委員から、小林委員を副会長に指名する旨の報告があった。

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、下村委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）令和6年度都田中学校学校運営基本方針の確認
- （2）令和6年度都田中学校各学年の目標及び現状等
- （3）夢育やらまいか事業に対する意見書

12 会議記録

司会の下村委員から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）令和6年度都田中学校学校運営基本方針の確認

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があった。

（2）令和6年度都田中学校各学年の目標及び現状等

議長の指示により、学校から、別紙資料に基づき都田中学校各学年の目標及び現状について説明があった。その後、各学年主任から学年の様子について報告があった。

・3年生

先日の修学旅行では、出席予定だった生徒は全員出席でき、現地での怪我や体調不良もなく過ごせた。やるときはやるというパワーがある生徒達。ここから行事や受験に向けて力をつけてもらいたい。総合学習についてはまだ決定していないが、もし何かあれば地域の皆様の力をお借りしたい。

・2年生

先輩としての自覚が出てきて意気込んでいたが、最近は気も緩み少々のトラブルも発生している。6月の臨海活動に向けて頑張っているのも、メリハリのある学習態度を心掛け、楽しむときは楽しむということが続けていきたい。

夏から秋にかけて2年生が中核となって学校を動かしていくので、自覚、自信、責任を持ってやってもらいたい。目標を持って諦めない、困難なことでも立ち向かう逞しい学年にしていきたい。

10月に職業体験があるので、地域の方にまたご協力をお願いしたい。

・1年生

入学式以降は欠席者ゼロ、その後一週間ほど欠席、遅刻もなく元気な学年。登校が早く、8時からきちんと読書を始めている。給食の残飯が少なく、よく食べることが元気に繋がっているのでは。

5月から部活動が始まり、楽しんで活動している子が多い。6月には初めての定期テストがあり、小学校との違いを実感するのではないかと。最近疲れが出てきていて遅刻が増えているが、1学期を乗り越えると中学校生活にも慣れてくるので、ここが勝負どころ。

・5組

課外活動において、吉田さんの書道の指導、下村さんのみかん作業への付き添いなど、地域の方には大変お世話になっている。

昨年度のベイスシアでの職場体験は生き生きと行き、褒められることもあった大事な活動となった。今年度は課外活動を4~5回に増やす予定。電車やバスでの活動も4~5回行っており、普段消極的な子の新たな面を見ることが出来る。実体験の中で、その子の輝くところを見つけられる大きな時間となる。自己肯定感を高め、人から助けをもらうことも大事だと感じてもらいたい。

・生徒指導

浜松市全体の不登校は増加している。不登校のきっかけとなる理由は多様で複雑なので、一人ひとりと向き合うことが大事。

都田中には、こもれび教室（校内適応指導教室）に通い、頑張っている生徒もいる。

いじめや日常生活についてのアンケートを生徒に実施し、気になる生徒には都度声掛けをしている。

校内で分かる生徒の様子はごく一部のため、地域の方から見た生徒の良いところをぜひ教えていただきたい。

委員からは以下の発言があった。

- ・子ども家庭センターというものが新たに開設された。そういう情報は学校に入ってくるのか。（吉田委員）
- ・SSWに間に入ってもらい、地域と学校を繋いでもらっている。（学校）
- ・保護者から、自転車の並列走行の件で話が出ている。学校は周知しているのか。（下村委員）
- ・警察から学校に連絡が来ている。生徒には放送で定期的に注意喚起している。都田交番の方に来てもらい、生徒に声掛けもしてもらった。（学校）
- ・地域活動への参加についてだが、清掃活動やボランティア活動を回覧板で募集しても、中学生の参加が少ない。地域活動の情報を中学校に持ち込んで、生徒に周知してもらえるのか。（神間委員）
- ・周知は出来るが、土日は部活動や地域クラブで活動している生徒もいる。疲れてしまって、その中で地域活動への参加は難しい面もある。（学校）

- ・自転車乗車時にヘルメットは被っているのか。(下原委員)
- ・登下校時は被っている。土日も、自転車で学校へ来るときは被るように指導している。(学校)
- ・自転車道がないので、方向を変えたり追い越したりするときに、飛び出てくると危険。(下原委員)
- ・注意喚起をしていきたい。(学校)
- ・中学の時にボランティア活動に参加した都田中卒業生が、最近地域事業に参加した際、将来都田に戻ってきて活躍したいという話を聞いた。そのような目標を持てることは素晴らしく、過去に参加した都田での活動が影響していると思う。子ども達が都田の良さを改めて発見し、戻ってきてくれることを支援していきたい。(吉田委員)
- ・部活動や塾で子ども達は忙しい。端的な目標を作っていないと、やりきることは難しい。部活動に主体的に参加している子ばかりではないので、周りに流されずに皆が主体的に活動出来るといい。子どもとのコミュニケーションを取る理由付けとして、親が学校に来るきっかけを作ってくれと嬉しい。(小出委員)
- ・生徒が活動出来る自治会の行事として、地域の祭りなどは開催しているが、土日が部活動で忙しいと、お願いすることが難しい。夏休みのフェスティバルはどうだろうか。(佐藤委員)
- ・3月の自転車講座は、部活動が休みの子たちに学校から呼び掛けて、誘い合って参加している。声掛けすればやってくれる優しい子はたくさんいる。(学校)
- ・参加してくれるか分からないが、出来るだけ声掛けしていきたい。自転車講座への参加は有難い。(下村委員)
- ・都田中の生徒には毎年お世話になっている。協働センター祭りでも一生懸命手伝ってくれて、そこではボランティア活動の証明書も発行している。長期休暇には、自習室開放事業として協働センターを2日間開放した。来てくれた子には、いつでも来ていいよと声掛けしている。この活動を継続して、協働センター利用を浸透させたい。卒業生である高校生に向けて、地域活動のチラシも配布している。中学生、高校生でボランティア活動をし、二十歳の集いに繋がっていければいいと思っている。(オプザーバー谷野)

(3) 夢育やらまいか事業に対する意見書

浜松市から6万円の予算をもらっており、学習に関する支援に対する謝礼に使用する予定。

その他連絡事項

学校より、次回会議は、令和6年11月18日(月)14:00から都田中学校被服室で開催する旨の報告があった。

体育大会、天白祭について、委員の方にぜひ観覧いただきたい、そして昨年度の天白祭では空席もあったので、地域のシニアの方に席を開放出来るか検討していきたい旨を伝えた。